

令和7年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画【中学校：数学】

阿蘇市教育委員会

本年度の結果

	数 学
阿蘇市	43
全国	48.3

領域別	数と式	図形	関数	データの活用
阿蘇市	36.6	45.6	44.9	49.8
全国	43.5	46.5	48.2	58.6
観点別	知識・技能	思考・判断・表現		
阿蘇市	48.2	35.9		
全国	54.4	39.1		

本年度の主な結果について

- 関数について、与えられた表、グラフから、必要な情報を適切に読み取ることには改善が見られる。
- 領域別にみると、4領域とも課題があり、特に「データの活用」については全国との差が大きい。
- 既習事項や数学的な表現を用い、根拠を明らかにして筋道立てて説明することに引き続き課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 必ず起こる事柄の確立について理解している。(7(1))
- 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができる。(8(1))

【課題】

数と式

- 素数の意味を理解している。(1)
- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる。(6(2))

図形

- 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる。(9(2))
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。(9(3))

関数

- 一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる。(4)
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(8(2))

データの活用

- 相対度数の意味を理解している。(5)
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(7(2))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」は全国と比べて極めて高い。

【課題】

- 「数学の勉強は好きですか」、「数学の授業の内容はよく分りますか」は引き続き課題である。
- 「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか」は全国よりも低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 阿蘇市「探究的な学びの郷づくり」構想に基づく授業を構築し、育成を目指す資質・能力を明確にして授業を行い、振り返るとともに、指導と評価の一体を図る。
- 個別最適な学びでは、自己選択、自己決定するなど見通しを持って課題解決に取り組ませ、協働的な学びでは、数学的な見方・考え方を働かせながらこれまでの知識・技能をアウトプットして数学的に考える資質・能力を育成する。
- 素数、外角、増加量、相対度数などの用語の理解に課題があり、用語を活用して表現する機会を設けたり、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考えたりするなど、数学的に説明する活動を充実する。

【日常的な取組】

- 生徒主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 少人数指導や個別指導等で基礎・基本の習熟を図り、補足的・発展的な問題の指導を行う。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、予習・復習の内容の充実を図る。